

## 词语的岁时记 11月的季语

到11月中旬的时候，在关东地区降“初霜”。所谓霜，就是在晴天寒冷的夜里地面的水蒸气结晶，粘在地面上的白乎乎的东西。降初霜的时期：北海道是10月中旬，东北地区是10月下旬，四国地区是从12月下旬至1月上旬。

把霜的结晶比喻为美丽的白色的花，也称作“霜华 (souka)”。还有比喻为白发，称作“霜发 (souhatsu)”的熟语。所谓“霜信 (soushin)”，是大雁的别名。据说到降霜的时候，大雁好像通知要下霜似的而飞来。另外，由于寒冷而血液循环不畅或冬天的洗刷工作，手、脚、耳朵等的顶端变红肿，痛痛痒痒的，感到热乎乎的“冻创”写作“霜烧”。

另一方面，11月在1年中气候的变化最少，由于天天连续是所谓的“小阳春”的好天气，许多人想寻求自然界的美而去游玩，因此也是适合于游玩的月份。

## ことばの歳時記 ～11月の季語～

11月も中旬になると、関東地方では「初霜（はつしも）」が降ります。霜とは晴れた寒い夜に地面の水蒸気が結晶して白く地面に付着したものです。初霜の降りる時期は、北海道で10月中旬、東北地方では10月下旬、四国地方では12月下旬から1月上旬とされています。

この霜の結晶を、白い美しい花にたとえて「霜華（そうか）」とも呼びます。また白髪（はつ）の比喻で「霜髪（そうはつ）」という熟語もあります。「霜信（そうしん）」とは、雁（がん）の別名で、霜がおおる頃になると、雁がそれを知らせるかのように飛来するからだそうです。また、寒さによる血行障害や冬場の水仕事で、手、足、耳等の先端が赤く腫れて痛がゆくなったり、熱く感じたりする「しもやけ」は「霜焼け」と書きます。

その反面11月は、1年のなかで気候の変化が少なく、いわゆる「小春日和（こはるびより）」の日々が続くため、多くの人々が自然の美しさを求める行楽に適した月でもあります。